

やまぼうしの軌跡

1970 年代 知的入所施設卒園生へのインフォーマル生活支援活動開始

- ◆就労した知的障害者の継続的なアフターケア
- ◆療護施設利用者の地域活動支援

1980 年代 まちの八百屋「おちかわ屋」での仕事づくり

1990 年代 障壁のない地域社会・日野をつくる会での様々な出会い

2000 年代 特定非営利活動法人やまぼうしの創設(2001 年 12 月)と重層的な地域ネットの形成へ

やまぼうし設立後の展開

2001 年 重度知的障害者生活寮「みお」(八王子市)の事業継承

農ある町づくりへの障害者等参加試行事業開始
日野市堀之内地区での遊休農地活用

2002 年 重度知的障害者生活寮「わんど」(日野市)の開設

2003 年 知的障害者生活寮「もぐさ」日野市移転・改装
軽食・喫茶交流サロン「べらもんと」の開設

2004 年 日野市と「倉沢の里山保全パートナーシップ協定」締結

「里山耕房くらさわ」の開設

国産大豆プロジェクトに参加

ヘルパーステーション「みずぐるま」の開設

2005 年 落川交流センター・浅川水辺の楽校運営協議会に参加

増島商店との企業内通所授産事業開始

2006 年 複合型事業開始

(ヘルパーステーション「みずぐるま」・重度身体障害者グループホーム「げん」・短期入所「あかとんぼ」併設)

2007 年 障害者就労移行支援事業所「カフェレストラン・れんげ」の開設

2008 年 日野市障害者生活就労支援センター「くらしごと」(日野市受託事業)の開設

2009 年 平山台健康市民センター内に「コミュニティレストラン」と「食材加工工場」の開設

食材の共同仕入れと販売のネットワーク「スローワールド」を開設

2012 年 ふれあいの森オープン

2015 年 KUPLI(豊田駅北口ショップ)を開設

2016 年 acorn café(首都大学内)を開設

やまぼうし事業概要

・サポート事業部

- 1) ヘルパーステーション「みずぐるま」
(居宅介護サービス、ガイドヘルプサービス)
- 2) 日野市障害者生活・就労支援センター「くらしごと」

・やまぼうしホーム事業部

- 1) みお(グループホーム)
- 2) わんど(グループホーム)
- 3) ののか(グループホーム)
- 4) つぐみ(グループホーム)
- 5) げん(グループホーム)

・スローワールド事業部

- 1) 多機能型事業所
「カフェ畑れんげ」就労移行支援事業
「ディーセントワーク平山台」就労継続支援 A 型
「やまぼうし平山台」就労継続支援 B 型
スターショップス(明星大学内)
- 2) 多機能型事業所
「里山耕房くらさわ」生活介護
「エッグドーム・スローワールドカフェ(法政大学多摩キャンパス内)」就労継続支援 B 型
- 3) 「ワークショップおちかわ屋」就労継続支援 B 型
ふれあいの森カフェ

・スローワールド事業とは

- 1) スローをキーワードとし、スローフード・スローワーク・スローツアー等、新規事業分野の開拓を目指しているネットワーク事業です。
- 2) 事業課題を共有できる、既に一定規模の事業を営んでいる法人や団体との、協働販売事業を軸に、協働仕入・協働加工の事業連携のネットワークを形成していく事業です。
- 3) 障害者就労支援策をスローワールドの独自の立場から有効活用していくことを事業の柱にしています。関連法人や企業との間で、障害者雇用の相互支援を促進する共生型グループホームの立ち上げも共通の事業目標となっています。
- 4) 当面具体化できる事業から着手していき、一つひとつバージョンアップしていく事業です。コアとなる法人・事業者との協働事業の具体化を進めています。
- 5) 最終的には、独立した経営・事業を立ち上げていくことを共通目標としている事業です。各法人・事業体の独立採算を基本に相互の事業提携を促進しています。

認定 特定非営利活動法人やまぼうし

多機能型事業所

(生活介護・就労継続支援 B 型)

里山耕房くらさわ

(生活介護)



〒191-0052 東京都日野市東豊田 3-8-9

Phone/Fax 042-583-8137

E-mail kurasawa002@yamabousi.org

—ヤマボウシ—

ヤマボウシ(山法師、山帽子、学名 *Benthamidia japonica*)

はミズキ科ミズキ属ヤマボウシ亜属の落葉高木。

—特徴—

高さ 5~10 メートル。幹は灰褐色。葉は対生し、楕円(だえん)形または卵円形で長さ 4~12 センチ、全縁でやや波打つ。

花は 6~7 月に開き、淡黄色で小さく、多数が球状に集合し、その外側に大形白色の総包片が 4 枚あり、花卉のように見える。

やまぼうしのめざすもの

やまぼうしは、

浅川流域に沿った多摩の地域で、自然と人との共に豊かに生きられる『まち』をつくりたい
そんな想いで生まれました。

やまぼうしは、

豊かな自然を守り、はぐくみながら、障がいのある人も、お年寄りや子どもたちも含めた誰もが「自分らしく」暮らせる地域社会の実現をめざしています。

やまぼうしは、

障害のある人の地域での多様な暮らしの場と働く場づくりを中心に毎年度の重点事業課題を設定し、事業をすすめています。

やまぼうしは、

障がいのある人、家族はもちろん支援スタッフやサポーター、通信購読者も共に会員登録をして会の活動を支えあっています。

里山耕房くらさわの設立コンセプト

「里山耕房くらさわ」は、「自然と人との共生」というコンセプトのもとに、やまぼうし通所事業所として2004年4月に開設されました。日野市百草倉沢地区の里山の保全にむけて「倉沢里山の緑地管理・運営及び共用に関する日野市と倉沢里山を愛する会のパートナーシップ協定」を調印し、倉沢里山地区の一部を「風の丘農園」と称し管理運営を行い、有機野菜の栽培を行ってきました。

里山耕房くらさわの目指すものは

やまぼうし「里山耕房くらさわ」は、障害者の「農あるまちづくり」への参加事業を推進し、従来の障害者作業所から、多くの市民の方が参加できる「市民協働型事業所」への脱皮を目指してきました。

里山耕房くらさわの活動内容

活動曜日/活動時間

月曜日～金曜日（土・日・祝日休み）
AM9:30～PM15:30

- 〈室外活動〉
- ・農園芸作業
 - ・委託業務（ボースティング・病院生ごみ回収）

- 〈室内活動〉
- ・授産活動（ぼかし作り等）
 - ・受注業務（仕切り作り、堆肥販売等）
 - ・文化創作活動（手工芸品）

- 〈行事・イベント活動〉
- ・レクリエーション
 - ・土曜日開所
 - ・各種イベント参加

【スローワールドカフェ】 （就労継続支援B型）

〒194-0211 東京都町田市相原 4342
法政大学多摩キャンパス エッグドーム館 2F
TEL/FAX 042-782-6588
法政大学多摩キャンパス エッグドーム（多目的共用厚生施設）内でカフェを運営しています。



【活動風景】



畑での収穫作業



プール活動